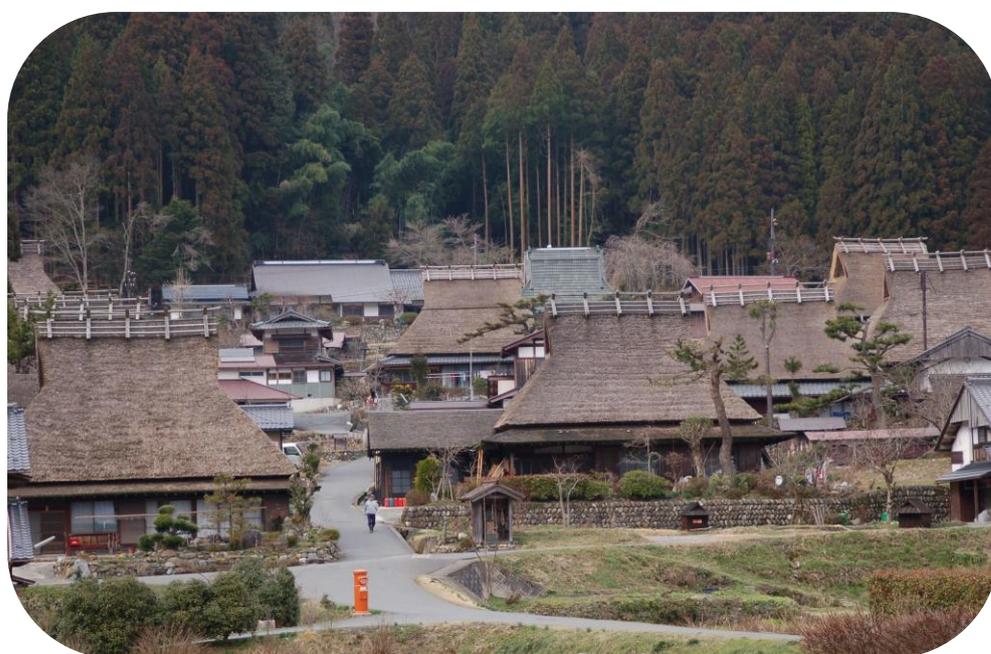


日本列島 3000km

豊かな農産物を

ネットワークにのせて全国へ

農民連ふるさとネットワーク



京都府美山 かやぶきの里

〒173-0025

東京都板橋区熊野町47-11



社医研ビル 2階

電話：03-5966-2250

FAX：03-5966-2253

営業時間(午前9時30分～午後5時30分)

休日：土日曜・祝祭日

農民連ふるさとネットワークとは

農民連ふるさとネットワークは、2004年8月、農民運動全国連合会（農民連）と産直運動の全国センターである産直運動全国協議会（産直協）が共同で設立をした全国組織です。この間、産直協が産直を軸に、ものづくりと流通の拡大のために果たしてきた役割を土台に、食と農をめぐる新たな情勢に応え、取り組みの飛躍をはかるために結成されました。

私たちの取り組みの原点は、ものをつくり、育てることです。

80%を超える国民のみなさんは、国内産の安全・安心な農産物を希望しています。そして40%に落ち込んでいる食糧自給率、この向上も切望しています。

食の安全をめぐる事件が頻発しているいま、米や農産物を、一部の大企業や商社の金もうけの道具にするのか、それとも生産者の思いを消費者、国民につなぐネットワークを広げ、日本の食と農を守っていくのかが問われています。

私たちは、ものをつくる農民です。政府と大企業による農業つぶしの攻撃を許さない取り組みに全力をあげ、仲間の農民の労働に深い敬意と連帯をこめて働きかけ、生産を広げるために力をつくします。

また私たちは、中小の流通業者（米屋、米卸、市場関係者など）、そして働いている人たち、消費者のみなさんなどの多くの人たちとネットワークをつくり、日本列島3000kmの安全で豊かな農畜産物・加工品などを提供するために力をつくします。

2004年8月

農民連ふるさとネットワーク結成総会宣言（抜粋より）

構成団体及び構成員

構成団体 : 北は北海道から、南は沖縄県までの80団体

構成員数 : 約16000戸

取り組みの計画

- 1、 農民連ふるさとネットワークは、農畜産物の輸入とたたかい、食糧自給率の向上をめざして地域を基礎に、安全・安心・信頼できる農畜産物の生産拡大に全力をあげます。
- 2、 農業と農村の価値と役割に関する国民合意を大切に、都市と農村の連帯、農業と商業の提携を広げます。各地の季節のくだもの、加工品等のカタログを作成、普及をはかり、食と農を守るネットワークの輪を広げます。
- 3、 日本列島三千^キの産地のネットワークを生かしたリレー出荷で、消費者団体や生協、労組や市民団体など、多様な消費者および団体との産直、中小の流通業者、加工業者、市場との提携、学校給食をはじめとした地産地消運動などを強力に進めます。インターネットによる産地情報の提供も進めます。
- 4、 ものをつくる生産者として、日本の気候や風土と最先端の科学技術を生かした生産技術と経営能力を向上させるための研修を進めます。
- 5、 これらの運動を通して、多数の農民と広範な農民組織を結集した農村での多数者となることをめざします。

主な取扱品目

◇お米：女性団体との産直（全国すべての地域で取り組み）、学校給食、保育園給食等の取り組み

米業者向け「準産直米」33の道府県プラス7農協から出荷

◇果物類

りんご：青森県、長野県、福島県、山形県、秋田県、岩手県の各産地

柑橘：静岡県、和歌山県、愛媛県、熊本県の各産地

その他：桃、梨、洋梨、ぶどう、柿、パイナップル、なども各産地から

◇野菜類

北海道から沖縄までの各産地から根物、葉物、果菜物

◇牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵類

◇農産加工品

各種の畜産加工品、味噌、醤油、菜種油、漬物、梅干、ジュース類など

◇海産物（北海道、青森、岩手、宮城、京都など）

